

令和6年度 北海道遠軽高等学校 全日制課程 学校関係者評価

1 本年度の重点目標

1	自分の夢や将来を大切にし、達成に向けて継続的に努力する生徒の育成
2	様々な教育活動に意欲を持って取り組み、互いに認め合い高めていく生徒の育成
3	豊かな情操と他者への思いやりをもち、自他の生命を尊重し行動する生徒の育成
4	望ましい職業観・勤労観や市民性を身に付け、社会・職業に円滑に移行する生徒の育成
5	郷土を理解し愛するとともに、グローバルな視点で物事を考える生徒の育成

2 育成を目指す生徒像

1	志を持ち、達成に向け継続的に努力する生徒
2	互いに高め合い、意欲的に取り組む生徒
3	自他の人権を尊重し、他者を思いやる優しい生徒
4	望ましい職業観・倫理観や市民性を身に付け、進んで奉仕活動に携わる生徒
5	グローバルな視点で物事を考えることができる生徒

()内は令和5年度
(一)は該当なし

【評価】よく当てはまる 4 少し当てはまる 3 あまり当てはまらない 2 当てはまらない 1

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学校運営	1	学校教育目標は家庭や地域の願いに応えたものになっていると思う。	3.6 (3.6)	3.5 (3.4)	3.3 (3.2)	・ HR担任や部活動顧問、関係教職員と保護者との連携に課題があり、ICTの活用方法の検討が必要である。 ・ Classiを活用して直接保護者に学校からの連絡や配布物渡しているが、生徒に渡している文書についても保護者に連絡をする等の工夫が必要である。	・ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域、家庭との連携、協働を促進するために「学校運営協議会」の内部組織を確立して、実効性のある活動を行う。 ・ ClassiやHPをより有効に活用して、定期的な教育活動の確実な情報発信に努める。
	2	授業の配置などの教育課程は生徒の進路実現に応えたものになっていると思う。	3.4 (3.6)	3.5 (3.5)	3.4 (3.2)		
	3	学校は、教育活動などを積極的に情報発信していると思う。	3.6 (3.5)	3.5 (3.5)	3.3 (3.2)		
	4	HR担任や部活動顧問、関係教職員は、保護者と連携が取りやすい環境にあると思う。	3.6 (3.0)	3.4 (3.3)	3.1 (3.3)		
	5	教職員の言葉づかいや態度、電話の対応などは、適切に行われていると感じる。	3.3 (3.0)	3.5 (3.4)	3.5 (3.5)		
	6	あなたは、学校から配付されるプリントなどを、保護者に必ず見せている。(指導している。)	3.5 (3.5)	3.3 (3.3)	2.7 (2.9)		
	7	遠軽高校に入学して良かったと思う(指導をしている)。	3.3 (3.1)	3.4 (3.3)	3.5 (3.4)		
学校関係者評価	・ ICTを活用して学校の様子を配信し遠方の保護者に向けて情報を届けるよう改善が必要である。						

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学習指導	8	全ての授業において、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られていると思う。	3.1	3.4	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は昨年度まで定期考査の点数で自分の学力が向上したかを判断できていたが、単元テスト等で評価が行われているため、どう判断したらいいか戸惑っているため、評価等についてより丁寧に説明する必要がある。 ・生徒の学力向上や学習習慣の定着等に向けて、引き続き、すべての教員の授業力向上や授業の工夫改善に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への評価までの流れや評価の提示方法などをわかりやすい説明等を工夫改善する。 ・授業改善のための教員間の授業観察や意見交換を行うとともに、教科研究会の参加を促す。
			(3.1)	(3.3)	(3.0)		
	9	予習・復習や学習課題など、家庭学習に取り組んでいる。（取り組ませている。）	3.0	2.7	2.9		
			(2.8)	(2.7)	(2.9)		
	10	今年度になって、学力は向上したと感じる。	2.9	2.9	2.9		
			(3.0)	(3.1)	(2.9)		
	11	全ての授業において、教員は適切な態度で授業を行っていると思う。	2.9	3.2	3.2		
			(2.8)	(3.3)	(3.0)		
	12	本校の学習指導は、わかりやすく、丁寧に行われていると思う。 (※本校の学習指導は、適切に行われていると思う。)	3.3	3.3	3.2		
			(3.2)	(3.3)	(3.0)		
学校関係者評価	・生徒自身が学力が付いていると感じるために、授業で理解した内容をアウトプットする機会を増やす必要がある。						
生徒指導	13	教職員は、積極的に声をかけたり、悩みを聴いたりするなど、生徒理解に努めている。	3.6	3.4	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・集団になじめない生徒や個別に支援が必要な生徒への対応が増えている中、組織的な対応や外部機関との連携など生徒指導の充実が必要である。 ・本校のいじめ防止に関する取組について、保護者への情報発信が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談を充実させ、多様化する生徒への指導や支援の体制を構築する。 ・いじめ防止に向けて、HPやSNSなどにより具体的な取組等の情報発信に努める。
			(3.4)	(3.2)	(3.1)		
	14	学校は、「いじめ」への対応について、適切に対応していると思う。 (※遠軽高は、いじめのない学校だと思う)	3.6	3.4	3.2		
			(3.1)	(3.2)	(2.9)		
	15	学校は、挨拶、服装、頭髪など、社会のルールやマナーなどについて適切に指導していると思う。	3.2	3.4	3.3		
			(3.0)	(3.3)	(3.0)		
16	あなたは（生徒は）、学校の生徒指導について理解している。	3.2	3.4	3.3			
		(3.0)	(3.3)	(3.2)			
17	学校は、教育相談や面談週間の実施などによって、生徒の悩みや不安の解消に努めていると思う。	3.7	3.5	3.2			
		(3.5)	(3.4)	(3.1)			
18	本校の生徒指導は、適切に行われていると感じる。	3.3	3.3	3.2			
		(3.1)	(3.2)	(3.1)			
学校関係者評価	・いじめアンケートや健康調査アンケートなどを通じ、日常から生徒の様子を把握していじめ防止の取り組むことが重要である。						

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
進路指導	19	学校は、進路実現に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を育成していると思う。	3.3	3.5	3.4	・学ぶことの必要性や社会とキャリアとのつながりを意識した進路指導が必要である。	・様々な活動を通じて、生徒が地域と関わり地域が抱える課題を自分事とし、自己の在り方生き方を考える機会を創る。
			(3.4)	(3.5)	(3.2)		
	20	学校は、模試などへの参加を促し、その結果を分析して進路指導に生かしていると思う。	3.4	3.5	3.3		
			(3.4)	(3.4)	(3.1)		
	21	学校は、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな指導をしていると思う。	3.5	3.6	3.3		
			(3.4)	(3.4)	(3.1)		
	22	学校は、進路について必要な情報を提供していると思う。	3.7	3.7	3.3		
			(3.6)	(3.5)	(3.1)		
	23	本校の進路指導は、適切に行われていると感じる。	3.6	3.7	3.3		
			(3.5)	(3.5)	(3.2)		
学校関係者評価	・地域社会とのつながりを意識させるための活動を増やすことが必要である。						
健康・安全指導	24	学校は、教科や学校行事、部活動などで、心身の健康と安全について適切に指導していると思う。	3.5	3.6	3.3	・家庭や下宿での生活状況についても、保護者との連携を深めて指導していく必要がある。 ・ネットトラブル等が発生していることから、SNSの正しい使い方など、情報モラル教育の充実に努める必要がある。	・学校生活だけでなく、家庭や下宿での過ごし方についての健康、安全教育を充実させる。 ・情報モラルやメディアリテラシーの教育を充実させる。
			(3.3)	(3.4)	(3.1)		
	25	学校は、生徒が体調不良や怪我などをした場合、適切に対応していると思う。	3.6	3.7	3.4		
			(3.5)	(3.5)	(3.3)		
	26	あなたは（生徒は）、睡眠、食事、時間を守るなど、規則正しい生活習慣が身についている。	3.3	3.3	3.0		
			(3.2)	(3.3)	(3.1)		
	27	学校は、スマートフォンやインターネット、SNS等の使い方について適切に指導していると思う。	3.5	3.5	3.2		
			(3.0)	(3.3)	(3.1)		
	28	本校の健康・安全指導は、適切に行われていると感じる。	3.6	3.7	3.3		
			(3.4)	(3.5)	(3.2)		
学校関係者評価	・SNSの利用についてホームルームや教科の指導を強化するとともに警察などの機関と連携をして全体に指導するなどより良いSNSの利用方法を学ぶ必要がある。						

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
教職員	29	各分掌間の連絡・相談等が十分になされている。	3.2	-	-	・各分掌や年次間の連携及び情報共有が十分とはいえない点に課題がある。	・管理職がリーダーシップを発揮して、職場全体で報告、連絡、相談の体制をつくっていく。
			(2.7)				
	30	悩みや不安などを相談できる職場環境となっている。	3.3	-	-		
			(2.8)				
	31	心身の健康について、自己管理ができています。	3.5	-	-		
			(3.3)				
学校関係者評価	・教員間での連携を図るなど職場環境の改善が見られるが、心身の健康のためにも長時間勤務の改善に取り組む必要がある。						
危機管理	32	教職員や生徒等の個人情報を持ち出さないなど、適切に保護している。	3.5	-	-	・地方公務員法に抵触する事案があったことから、地域や生徒から信頼される学校づくりに、今後も継続的に取り組む必要がある。	・教員一人ひとりが個人情報の適切な扱いについて意識を持ち、ICTの扱いに注意を払うようにする。 ・北海道教育委員会が定める「コンプライアンス確立月間」のみならず、年間を通じて、服務規律の遵守について啓蒙していく。
			(3.4)				
	33	部活動会計や生徒会費の請求等、適切な会計処理を行っている。	3.5	-	-		
			(3.5)				
	34	遠軽高校は、職員の服務規律の徹底等、コンプライアンスの確立に努めている。	3.3	-	-		
			(3.1)				
	35	問題や事故の発生時など、速やかに管理職に報告している。	3.7	-	-		
			(3.4)				
学校関係者評価	・地域や生徒から信頼される学校づくりに教職員全員が服務規律の遵守に向けて研修を行うなど意識を向上させる必要がある。						
施設整備	36	施設設備の維持管理が適切に行われている。	3.4	-	-	・大規模改修により改善されたが生徒の安全を確保するための定期的な点検が必要である。	・不具合箇所の周知を職員、生徒に徹底し、事故防止に努める。
			(2.7)				
	37	施設の補修や設備の補充が十分になされている。	3.4	-	-		
			(2.7)				
学校関係者評価	・熱中症対策を講じるなど施設の維持管理が必要がある。						

働き方改革	38	遠軽高校は業務のDX化やClassiの活用による業務の効率化により、時間外勤務の縮減に努めている。 (※業務の見直しやClassiの活用による業務の効率化により、時間外勤務の縮減に努めている。)	2.9 (3.0)	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 作業の平準化についての取組を充実させる必要がある。 業務のDX化、教育のDX化を進めて行く中で、業務の効率化とないこともあるのでさらなる改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務縮減等について、職員からアイデアを募るなど、具体的に効率的な取組を進める。 分掌や学年、教科内での役割と責任の所在を細分化、明確化し、仕事の平準化を図る。 DX化による課題をより明確化して改善する。 管理職から休暇取得を推奨（年休・年間15日以上）するなど、リフレッシュできる環境や雰囲気をつくる。
	39	遠軽高校は教育のDXを進めるなど、授業準備等の負担軽減に努めている。 (※道教委のモデル別教材などのICTを活用し、授業準備の負担軽減に努めている。)	3.0 (3.0)	-	-		
	40	遠軽高校は、学校行事の精選等、スクラップ&ビルドの視点で改革を推進している。	3.1 (2.9)	-	-		
	41	遠軽高校は、年次内や分掌内などにおいて、相互協力、相互援助など、作業の平準化がなされている。	2.9 (2.4)	-	-		
	42	遠軽高校は、職員のメンタルヘルスの向上のための取り組みを行っている。	3.0 (2.6)	-	-		
学校関係者評価	ICTの活用により、事務作業の効率化や授業準備の時間短縮を目指してほしい。学校運営協議会と連携して、地域と学校が一体となって教育活動を支える体制を整えていく必要がある。						